TECHNICAL NOTE

No:TN709

March 2026

SD9
V22xx へのアップグレード方法

下記内容は SD9 コンソールを最新リリースバージョンへ更新する手順です。V443 以前のバージョンからアップグレード作業を実行する場合はアップグレードを試みる前にヒビノインターサウンド株式会社へご連絡ください。V443 + から V22xx へ直接バージョンアップは可能です。

V22xx は V2126 に代わる最新版です。

SD9 を V821 以前のバージョンのソフトウェアからアップグレードする場合、SD9 Stealth Core2 ソフトウェアのアップグレード（有償）が必要になります。コンソールは Stealth Core2 ソフトウェアのアクティベーションコードなしでも 10 回まで起動できますが、その後はアクティベーションコードを入力する必要があります。

アクティベーションコード（パスワード）を購入するには、www.digico.biz にアクセスしてください。またはご購入の代理店、担当者にご相談ください。日本ではヒビノインターサウンド株式会社からも入手が可能です。

SD9 を V821 以降からアップグレード済みで、Stealth Core 2 ソフトウェアがアクティブ状態の場合、アクティベーションが有効なままバージョンアップグレードされます。

必要なファームウェアのアップグレードは次ページの表のとおりです。

これらのアップグレード作業を行う際は、予想外の障害や不具合を考慮し、
仮設現場での作業、特に当日に本番がある場合は
別の機会に作業することを強くお勧めします。

また仮設・常設を問わず、時間が十分に用意出来ない場合も同様に
別の機会に作業することをお勧めします。

今回のアップデート完了後のバージョンとコードは以下のように表示されます。

: アスタリスク（*）マークの付いた Engine Host 及び FPGA のコードは MK Ⅱエンジンのコードになります。

	Version 2126	Version 22xx
Software	21.0.2126	22.0.22xx
Worksurfaces	107	107
Local I/O	23	23
Engine: HOST – d6host.bin	05/07/2021	05/07/2021
* Engine: HOST – sp6e.bin	05/07/2021	05/07/2021
Engine: FPGA – d7a.bit	06/11/2012	06/11/2012
* Engine: FPGA – sp6e.bit	29/01/2013	29/01/2013
Engine : Effects	18/04/2012	18/04/2012
D-Rack: Drack8b.bin	10/12/2014	10/12/2014
D-Rack : Drack8b.bit	28/08/2023	28/08/2023
D2-Rack: D2rack.bin	03/11/2017	03/11/2017
D2-Rack:D2rack.bit	28/08/2023	28/08/2023
SD-Rack: Rack8b.bin	21/09/2016	21/09/2016
SD-Rack : Rack8b.bit	05/07/2012	05/07/2012
DiGiRack/MADIRack: Rack.bin	28/09/15	28/09/15
DiGiRack/MADIRack: Rack.bit	10/03/06	10/03/06
Optocore V221 Firmware	V5R3	V5R3

このアップグレードを実施する際は、コンソールの Optocore、MADI、ローカル I/O およびヘッドホンアウト端子にケーブルが接続されていない状態で行ってください。コンソールを立ち上げたら Quit to Windows ボタンから Windows 画面を表示し、以下の手順に従い作業してください。

1. Software Updater **SD9_V22xxz_Updater.exe** を DiGiCo コンソールに付属している USB キーにコピーし、SD9 サーフェイス上の USB ソケットに挿入します。
2. **Start メニュー**を右クリックして、**Explore** を選択します。接続した USB キーに移動し、USB キーから **SD9_V22xxz_Updater.exe** を実行すると、必要なアップデート、アプリケーションソフトウェア、および現在の SD9 アプリケーションフォルダーのバックアップの インストールが開始されます。
3. **UpdateHardware** アプリケーションが自動的に実行されます。デバイスごとに、現在実行中のバージョンが「running」の列に表示され、新しいバージョンが「available」列に表示されます。

Available 列に表示されるバージョンは D:\SD9 ディレクトリ内の対応するファイルに基づいています。

コンソールのファームウェアアップデートが以下の順番で進行します。

<u>V2126 以前のバージョンからアップデートする場合、Console のファームウェアのアップデートが必要な場合があります。</u>

アップデートが完了したら、**UpdateHardware** プログラムを閉じて、コンソールから USB キーを取り外します。

4. Start メニューから、コンソールをシャットダウンします。

5. コンソールの電源を入れます。その後、SD9 アプリケーションが直接起動します。Diagnostics パネルで、すべてのコンポーネントが正しく更新されていることを確認してください。(Diagnostics パネルを開くには System メニュータブから Diagnostics を選択します。)

Diagnostics ウィンドウの左側にある Console タブには、更新したシリアルデバイスのバージョンが表示されます。

Console タブ右側のセクションにはシリアルデバイス一覧が表示され、code の列でそれぞれのデバイスで起動しているバージョンを確認することができます。

これらシリアルデバイスのバージョンは、同資料の冒頭に記載されているバージョンと一致している必要があります。一致していない場合は、アップグレード作業が正常に完了しなかったことになります。**D:\SD9\UpdateHardware.exe** を使い、上記アップデート手順の 3 番から作業を繰り返す必要があります。

Diagnostics の Engine タブには、アップデートした Engine コードが表示されます。Host、Effects、FPGA の code と downloaded に表示される日付が、同資料の最初に掲載したリストの日付と一致していることを確認してください。

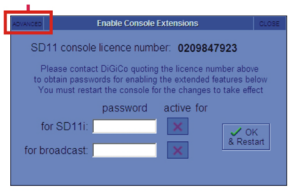
6. V760 以前からアップグレードする場合（V821 + からアップグレードする場合は不要）- System タブから **Enable Extensions** を選択し、ウィンドウ左上隅に現れる ADVANCED をタッチして Core2 用セキュリティコードを取得してから、Core2 ソフトウェアを購入してアクティベーションできるようにします。

Stealth Core 2 アップグレード (有償) ― Core2 アップグレードのアクティベーションに関する重要な注意事項

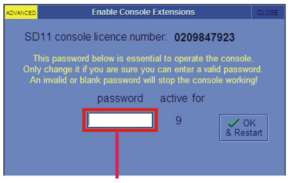
V821 からアップグレード済みで、すでに Core 2 をアクティベートしている場合は以下の手順は必要ありません。

V760 以前からソフトウェアアップグレードする場合は、パスワードを生成したら、コンソールのマスター画面の System タブから Enable Extensions へ移動し、以下の手順で作業を行ってください。

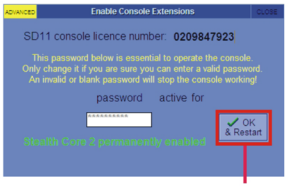
Core2を選択



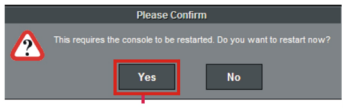
Core2のページ



パスワードを入力



✓OK & Restart ボタンを押す



「Yes」を押して再起動させます

または

既に10回起動していれば、アプリケーション起動時にこの画面が表示されます。

この場合、**パスワードを入力**して✓**OK**ボタンを押せばCore2がロードされます。
パスワードを入力せずにアプリケーションを終了するには、キーボードの**ESC**キーを押します。

以上の手順を実行しても SD9 を正常にアップグレードできない場合は、ヒビノインターサウンド株式会社へご連絡ください。

202604

ヒビノインターサウンド株式会社
〒105-0022　東京都港区海岸2-7-70
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp　https://www.hibino-intersound.co.jp/

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。